

「今月の主な紙面」

- みなと医療生協街頭宣伝、いのちまもる総行動、わんこにゃんこ
- 名南友の会学習会、お気に入り、平和大会ご案内
- 研修医日記、相談室、パズル

愛知民医連

愛知県民主医療機関連合会

〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9番3号
☎ 052-883-6997 FAX 052-889-2112
発行責任者 武田 修三
URL : <http://www.aichiminiren.jp/>
E-mail : aichiminiren@aichiminiren.jp

第496号

地域医療の崩壊をくい止めるために

民医連の緊急行動

組合員・友の会、地域の医療機関へ署名を広げよう

全日本民医連は、「民医連の事業と経営をまもり抜き、地域医療の崩壊をなんとしてもくい止めるための緊急行動」を提起し、このピンチをチャンスとし、かき、かつてない運動の前進で展望を切りひらくことと呼びかけています。

まちの医療機関がなくなる危機

いま、日本の医療機関は深刻な経営危機に直面しています。全国1731病院の統計(2024年度)では69%の病院が赤字。過去最大規模で医療機関の倒産・廃業が相次ぎました。

民医連でも135の医科法人で経常利益赤字64%・前年比利益悪化54%(2024年度決算速報)というきびしい結果となっています。2025年度に「必要利益」「予算利益」を確保できなければ、経営破綻が現実のものとなりかねません。

多くの法人で大幅な収支改善を前提に予算をたてていますが、改善の見通しは大変厳しい状況です。

原因は診療報酬の据え置き

この経営危機の原因は、



北医療生協が地域の法律事務所訪問

★北医療生協は、地域で日頃から共同している名古屋北法律事務所、名北福祉会へくらしの委員会を訪問し署名協力を要請。「自分ごととして考えている」と快く協力してくださるようになりました。

政府の社会保障費抑制政策にあります。とりわけ「公定価格」である診療報酬が据え置かれ、物価高騰に対応して上がっていないことで収益が急激に悪化しました。その結果、日本の医療機関全体で深刻な経営危機に陥っています。医療・介護職員の賃金を他産業並みに引き上げることも出来ません。医師・看護師をはじめとした医療従事者の抑制、ベッドの削減と相まって、地域医療は崩壊寸前です。

国民の受療権が脅かされている

さらに、自民・公明・維新が合意した「医療費4兆円削減」案が内閣府「骨太の方針」に反映し具体化されています。自己負担金の引き上げや保険給付の縮小など患者さんの受診機会を奪うことがたくらまれています。

診療報酬の期中改定、緊急の財政支援を

経営改善のためのあらゆる努力の推進とともに、診療報酬制度など国の社会保障抑制政策の抜本的見直しを求められています。全日本民医連が掲げた診療報酬の期中改定、補助金等の緊急の財政支援の要求は、今や日本医師会や6病院団体(日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会、日本慢性期医療協会、全国自治体病院協議会、全国知事会、

全国市長会、全国町村会等の共通した要求となつてい

1、取り組みの期間

2026年1月の通常国会に向けて請願署名を集めます。全国100万筆目標(11月末60万筆、2026年1月末100万筆)・愛知民医連は4万筆目標です。臨時国会も含めて提出時には国会要請行動、記者会見が行われます。

2、緊急提起の運動目標

(1) 医療機関経営の危機は国民の受療権の危機であること、その根本原因は政府の社会保障抑制政策にあること、医療経営・医療現場が極めて困難な状況であることなどを圧倒的多数の人々の共通認識とすることを目標

【緊急行動提起】

1. 医療機関が存続の危機にあることを知らせるポスターをすべての事業

ます。「安心して住み続けられるまちづくり」のために「地域医療まもれ」「介護を守れ」の声を、住民と共に「オール地域」の運動としてまき起こしましょう。

所で貼り出す。地域の医療機関等にも協力をお願いかけましょう。

2. 「地域住民の医療を受ける権利を保障するために医療機関の維持存続への支援を求める請願署名」と医療機関の実態を知らせる「チラシ」で大量宣伝、学習活動をするめましよう。

3. 県・市町村の12月議会へ「医療機関への緊急財政支援、診療報酬の期中改定」等を求める要請と自治体決議を働きかけましよう。

4. 県連推進委員会を確立しました。ニュース発行をします。法人の取り組みをお知らせください。

まちの医療機関がなくなる?

住民のいのちと健康がまもられない

ご存じですか? あなたのまちの医療機関はもう壊滅寸前です!!

医療機関はもう壊滅寸前です

1. 診療報酬は10年連続で据え置き、医療機関の経営は厳しくなっています。24年度は、過去最大規模での診療報酬の改定、実施が決定されました。医療機関の事業と経営を支える収入(診療報酬)は、速断して減らされています。物価上昇を反映した診療報酬に改定しなければならぬのに、医療機関も苦境を来しています。

医療機関の経営状況

2024年度 赤字64%

このままでは、ある医療機関、閉鎖が危ぶまれます

全国で病院閉鎖による医療空白自治体が増加

各地で閉鎖・廃業が続いています。厚生労働省などの統計でも、医療機関の約7割が赤字となっています。経営が厳しくなると、医師・看護師不足、診療の質の低下、医療費の引き上げなどが懸念されています。医療機関が閉鎖されると、地域住民の健康と安全が脅かされます。

全日本民医連 (全日本民主医療機関連合会)

〒113-0045 東京都文京区湯島3-4-4 民医連会館5F
TEL 03-5642-6997 FAX 03-5642-6998 E-mail mainichi@mainichi.or.jp



みなと

☆9月20日「理事・管理者せーの集会」を行い、理事26人、職場管理者30人、組織担当者6人で、生協強化月間を前に意志統一をはかりました。

☆9月25日、みなと診療所で25人が参加して、所長の三浦医師を講師に市民公開講座「健康診断のはなしと結果のみかた」を開催。

南

☆虹の出会い月間がスタート。ある支部では班会でのよかつたエピソードを出し合い仲間増やしに取り組みを確認しました。

☆フィットネスクラブwishはマシン更新増資運動で多くの方の応援をいただき目標を達成できました。

☆今年もヘルスアップカレッジ(全4回)が開始。

北

☆北病院ブロック「こども縁日」が9月28日に開催され、179名で賑わいました。けん玉や射的の他に小児科の森院長と白衣を着て撮影会など大好評でした。

☆糖尿病患者教室が9月27日「コソコソ骨も鍛えよう、糖尿病と骨折の深い関係」をテーマに開催され、34名の参加がありました。

名南

☆名南会健康友の会が「名

尾張

☆9月25日に、いのちまもる総行動に職員5名、友の会1名が参加。ケアと人権について改めて考える行動となりました。

☆9月5日に尾張健友会グループの大規模災害訓練を実施。記録・伝達方法や非常備品の機能、使い方など、改善点を明確にする機会になりました。

ファルマネット

☆9月1日より3週間、わかば薬局3店舗で患者満足度調査を実施しました。コロナ禍以降久しぶりの調査で、結果は9割以上の方に「満足」「やや満足」と回答して頂けました。待ち時間や窓口対応についても意見を頂きましたので、今後の薬局運営に生かしていきたいと考えています。

はみんぐ

☆9月20日平和活動交流会に2名、9月27日あいち平和のつどい2名参加。

☆地域医療まもる請願署名は法人目標を1000筆とし、とりくんでいます。

☆11月8日「第4回青空健口ひろば」では、南区いきいき支援センターによる「いきいき支援なんでも相談」を行います。

地域の病院を

なくすわけにはいかない

社会保障の改悪をくい止めよう

地域のみなさんの命と健康を守るために

みなと医療生協
が宣伝行動

9月13日(土) 午後より、熱田区・六番町交差点にて、みなと医療生協・社保委員会主催の宣伝行動「いつでも、どこでも、だれもが安心して医療・介護を受けることができる社会に」を行いました。

5月に予定していましたが、雨のため延期になり、この日実現しました。

当日も雨模様でしたが、幸い開始時には雨も上がり無事開催。社会保障推進協議会、全日本年金者組合愛知県本部港支部など6団体にも参加を呼びかけ計30人が宣伝行動に立ち、道行く人や車に医療・介護を守るための充実を訴えました。

またこの日、春に作った横断幕も、ようやく日の目を浴びました。



署名のお願いもしました

次に愛知

社会保障推進協議会の小松事務局長から、一部政党からの社会保障制度の改悪につながる主張への批判と、社会保障費の削減、高額療養費制度の改悪、病床削減、OTC類似薬の自己負担化などの骨太方針への批判が語られ、改悪を止めましょうと訴えがされました。また、マイナ保険証についてこれまで起きていた様々な問題がなにも解決していないことを指摘し、従来の保険証の発行を引き続き求めていきたいと訴えました。

最初尾関理事長から、全国の病院の7割近くが赤字経営で、医療の危機が進んでおり、何としても病院をなくすわけにはいかないと述べ、みなと医療生協などの骨太方針への批判が語られ、改悪を止めましょうと訴えがされました。また、マイナ保険証についてこれまで起きていた様々な問題がなにも解決していないことを指摘し、従来の保険証の発行を引き続き求めていきたいと訴えました。

愛知県年金者組合港支部から、荒川さんと久野支部長から、年金の上げ率が物価上昇に追いつかないため、特に低年金の女性など生活苦がますます酷くなっている実態があり、少しでも早い年金のアップを求めますとの訴えがありました。

他には愛知民医連の代表として県連理事の嶋倉さんからも訴えがありました。

医療を守る署名を一筆でも多く集めていけるよう、今後も訴えを広げていきたいと思っています。

みなと医療生協
社保委員長 那須 弘之

軍拡やめて
医療・介護・福祉の
充実を

9・25
いのちまもる総行動

参加者の感想(一部)

■9・25のちまもる総行動に参加し、社会保障制度の現状や課題を改めて実感しました。現場の声を直接聞くことで、自分自身の生活や将来にも直結する重要な問題であると感じ、多くの仲間と共に声をあげることの大切さを学びました。

名南ふれあい病院

医療・介護連携相談室

佐藤 桃香

軍拡ではなく、医療、介護、福祉予算の増額を求めて、「もう限界 平和と社会保障を立て直せ!いのちまもる総行動」集会が9月25日、東京・日比谷野外音楽堂で行われ、医師や看護師、介護職員など22000人が参加しました。

診療報酬・介護報酬の期中改定、ケア労働者の大幅賃上げや高額療養費制度の改悪撤回などを求めるアピールを確認し、集会後は銀座の通りをパレードしました。

名南病院 臨床検査技師 青山 竜也

■今回9・25のちまもる総行動に参加をし、医療従事者の方達の声を聞いて、現状の深刻さを痛感しました。パレードに参加したのは初めてでしたが、実際に声に出して訴えることの大切さを学ぶことができました。

■今回の総行動に参加することによって、実際に働く人のリレートークを聞き医療の他にも介護・保育の現状がどれだけ社会保障の改悪によって追い詰められているのかを知ることができ、変えていくためには行動に移し周りに知ってもらうことや政府に現状を訴えることの大切さを実感することができました。

千秋病院 医事課 藤田 百佳

な暮らしが確保出来る様に政府に訴え続けたいといけないと思います。そのため、今後デモ活動等の活動があれば積極的に参加していきたいと思いました。

千秋病院 理学療法士 各務 大樹



我が家のあづきは

ツンデレさん♡

真つ黒な姿しか撮れないのが悩みです。

情豊かなあづきさんの姿を写真に残したいのですが、私に技術がないため

千秋病院 師長室 看護師 澄川 美佳



我が家にはあづきという黒猫の女の子がいます。保護猫カフェから8年前にやってきました。膝に乗ったり、布団に入ってきたりする甘えん坊ですが、からだに触られるのは大嫌いで、撫でると私の手に噛みつくツンデレさんです。

野太い声でニャアと鳴く姿もたま

第55回 学術運動交流集会のご案内

今年は名古屋駅近くの「TKP ガーデンシティ名駅西口」と「TKP ガーデンシティ新幹線口」を会場に開催します。

日時 2025年11月23日(祝・日)
9時30分 受付開始 午前10時開会 午後3時半頃終了予定
受付は TKP ガーデンシティ名駅西口 2F ベガにて
会場 全体会(午前) TKP ガーデンシティ名駅西口
分科会(午後) TKP ガーデンシティ名駅西口・TKP ガーデンシティ新幹線口

(午前)記念講演
「ノーベル平和賞授賞式参加被爆体験を伝え核兵器のない世界をめざす」
●金本 弘 氏
(日本被団協代表理事)
●大村 義則氏
(日本被団協2世委員会委員長)

(午後)分科会
①臨床報告・医療安全など
②看護活動1
③看護活動2
④看護活動3
⑤介護活動・認知症ケア
⑥リハビリ・地域包括ケア
⑦職員育成・業務改善・経営改善
⑧社保・平和 特別分科会
(講演:田巻紘子弁護士)

第34回 愛知民医連新聞
新年号 写真コンテスト

テーマ「私のベストショット」
●応募資格
愛知民医連内の各法人職員(パート職員も可)
●作品形式 1枚目の1点(組み写真不可)。
※カラー・白黒は問いません。
※プリント作品:サイズ不問です。ご郵送ください。
※データ応募:10MB 以内。
A4版普通紙・カラー印刷にて選考。
●応募方法
以下の内容を添付しご応募ください(すべてお答えください)
①作品のタイトル、②所属法人、③職場名、④職種、⑤氏名(ふりがな)、⑥来年の当チラシに写真使用の可・不可、⑦郵送の場合は作品返却の要・否

撮影機材は問いません。
お気軽にご応募ください! スマホでも、コンパクトカメラでも、一眼レフでもOK!

◇郵送応募
〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-3
労働会館本館3階
愛知民医連・新年号写真コンテスト係

◇メール応募
aichiminiren@aichiminiren.jp
愛知民医連事務局・新年号写真コンテスト係

◇QRコードから応募
(Google アカウント使用)

締め切り 2025年11月28日(金) 必着
入賞 図書カード進呈
〔金賞5千円、銀賞3千円、銅賞2千円、入選1千円〕

名南会の取り組みをもっと知ろう!!

「名南会・名南会健康友の会 共同企画」

『名南会健康友の会 夏の学習会』

名南会の取り組みを知ること、友の会の支部を越えて役員同士や職員との交流、秋の共同組織強化月間にむけて意思統一を目的に9月6日に名南会健康友の会の役員を中心に名南病院の講堂で学習会を開催しました。

役員会での

意見をともに企画

役員会で「名南会の取り組みをもっと地域にアピールをした方がよいのではないか」「直接、職員に話や意見を聞いてみたい」という意見が出され、その後の役員会で何度も何度も話し合いをして企画を練り、職員に要請をして、打ち合わせをして当日を迎えました。

各部署のお話に感謝、今後の活動に活かしたい

お話し後は、3つのグループに分かれて、それぞれのグループに講師の方を交えてグループディスカッションをしました。

看護部の「無差別平等の

医療を目指し地域とも連携して、安心して住み続けられるまちづくりに貢献する」という想いに変革感銘を受けました。

栄養課の美味



しそうな行事食やブリの解体ショー等のイベントに、「その時に入院したいー」との声も聞かれた一方「限られた予算や物価高騰の中、大変苦労をされていることがよくわかりました。」との感想もありました。法人内のリハ



ビリテーション部門には90名もの専門職の方が在籍され、訪問リハビリや小児のリハビリの対応や看取りの方まで幅広くチーム支援されていることを知りました。知らないことがたくさんあり、これからの友の会の活動に活かしたいと感想が寄せられました。

共同組織との関わりを 考えるきっかけにも

職員からは、今まで共同組織の方とゆっくり話をする機会が殆どなく、今回名南会の部署活動を知ってもらうばかりでなく、友の会の役員さんたちと話ができて職員として共同組織とどのように関わればよいか考えるきっかけにもなり学習会に参加して本当によかった等の感想が寄せられました。

今後も、職員と共同組織が一体となって医療・介護活動に取り組めるように、おいに学習をしていきたいと思います。

なくそう!日米軍事同盟・米軍基地

日本平和大会 in 愛知 10/25-26

なくそう!日米軍事同盟・米軍基地

2025年日本平和大会 in 愛知

10月4日(土) 会場：シンポジウム「オンライン」

10月25日(土) 会場：名南会・名南会健康友の会

10月26日(日) 会場：名南会・名南会健康友の会

参加費：1日1,000円・通し参加2,000円

★チケット販売中 各法人の社保平和委員会にお問い合わせください

■10月25日(土)～26日(日) 本大会 (名古屋市民会館ほか市内各会場にて)

戦後・被爆80年の今年、「日本平和大会」が愛知で開催されます。

協立病院のバレーボール部

わたしのお気に入り



バレーボールです。協立病院のバレーボール部(レインボーみなど)は毎月2回程度近くの中学校を借りて練習をしています。

経験者も初心者も一緒にわいわいと楽しくやっています。

私も未経験者ですが、経験者からいろいろ教えてもらってどんどん上手くなっています(気がします(笑)。とくに50を超えていますが、気分転換にもなるので仕事で疲れていても練習の次の日は元気に出勤できます(身体は筋肉痛ですが...)。今の目標は来年行われる民医連の全国大会に出ることです。



協立総合病院
看護師 宮下 力

日本平和大会にご参加ください

「なくそう!日米軍事同盟・米軍基地2025年日本平和大会in愛知」が迫ってきました。この大会に向けて、草の根から平和の世論と運動を広げ、多数の参加者を結集し、戦後・被爆80年の節目と激動の情勢にふさわしい大会として成功させましょう。

大軍拡が生活関連予算を圧迫削減し、市民生活は悲

いま医療の現場で 何が起きているのか

日本平和大会・学びと交流のつどい
おススメ企画
企画(B)「ドキュメンタリー映画 医の倫理と戦争」

現在の日本の医療現場が抱える様々な問題の根底には、第二次世界大戦における医療関係者による戦争犯罪への加担と、その隠蔽という事実がある。石井四郎が率いた「731部隊」に所属する医師たちは、中国人への人体実験を繰り返して、敗戦後その事実を隠蔽しただけでなく、人体実験

軍拡の危険性を知らせ、憲法に基づく平和外交の道にこそ平和とくらしを守る展望があることを、学び、語り、広げることが求められています。その運動を広げるのが2025年日本平和大会です。

参加チケット販売中・各法人の社保平和委員・担当者にお問い合わせください。
(1日参加1000円・2日参加2000円)

いま医療の現場で
何が起きているのか

下キュメンタリー映画 山本草介監督作品

医の倫理と戦争

高岡勲作：安全衛生部医政課・医療法課・医療関係者、シニア

私たちそして医療従事者たちが知らなければならない真実がある

研修医日記

思い出の音に背中を押されて

朝夕の風に秋の気配を感じ季節となりました。皆さまいかがお過ごしでしょうか。

気づけば私も研修医2年目。1年目の先生方はいよいよ夜勤デビューの時期を迎えています。不安と緊張の中で迎える初めての夜勤。そんな後輩たちの姿を見てみると、かつての自分



2年目研修医 足立 虎太郎

を思い出します。先輩として背中を見せつつ、時には一緒に悩みながら成長して

去年は私が所属する職員バンドの紹介をさせていただきましたが、今年も少し音楽の話をしたと思います。音楽の持つ力というのは本当に不思議で、心を前向きにしてくれるものだと感じます。先日、職員バンドで「OMENS OF LOVE」という曲を演奏しました(T-SQUAREというバンドの曲です)。この曲は大学生の頃に所属していた吹奏楽部でよく演奏した、特に思い入れのある

一曲です。演奏していると、部活に勉強にと不器用ながらも一生懸命だった学生時代の記憶が鮮やかに蘇り、当時の仲間や空気を思い出して胸が熱くなりました。忙しい毎日の中でもそんな「原点」に立ち返らせてくれる音楽の力を改めて感じました。

皆さまにも、聴くだけで当時の情景が蘇るような「思い出の一曲」はありますか？そんな曲と再会したとき、きつと心が少し温くなるかもしれませんね。



栗拾い
名南ふれあい病院
事務 西 志野
中津川に栗拾いに行ってきました。3kgほどの栗を拾って(買って)きたため、栗ごはんや栗きんとんを作り秋の味覚を早速楽しませました！残りの栗は冷凍して、もうしばらく楽しもうと思っています。

みなさんの満足は難しい
千秋病院
放射線技師 森 賢洋
リハビリ向けに医療画像学習会をします。40人ほどの人数ですが、ベテランさん向けの内容だと新人さんがちんぷんかんだし、逆だと退屈な内容になってしまいうし、みんなが満足するようにするのは難しいです！

子どもたちと
有料老人ホーム虹の郷
作業療法士 河合 雅代
いつも子どもたちとクロスワードに取り組み楽しんでいます。

お出かけしましょう
北メンタルクリニック
看護師 田川 美樹
最近どこも出かける気がないけど、涼しくなってきたので今度平日休みに出かけてみようかな。

孫と散歩できるように
みなと協立総合病院
看護師 河口 恵子
孫が8カ月になります。いっしょに散歩が楽しみです。

孫と散歩できるように
みなと協立総合病院
看護師 河口 恵子
孫が8カ月になります。いっしょに散歩が楽しみです。

子どもたちと
有料老人ホーム虹の郷
作業療法士 河合 雅代
いつも子どもたちとクロスワードに取り組み楽しんでいます。

クロスワードパズル

クロスを解いてA～Eに入る文字を順にならべてできた言葉をこたえてね

Answer grid with clues and solutions.

(出題 北メンタルクリニック事務 幅しのぶ)



【たてのカギ】

- 2 吹き鳴らす楽器、フルートや尺八など
- 3 アウトドアから医療・介護まで、快適寝具？捨てる物です
- 4 ○○らん、○○房、○
- 5 ○ボール
- 6 エビネ、カトレヤ、デンドロビウムなど
- 7 「火男」が語源、おかめとセット？
- 8 チョコレートの原料
- 9 住宅や建物内部の部屋の配置や構成

【よこのカギ】

- 1 喫茶店
- 2 靴下などはいっていない、素足
- 3 定期航空路、航空会社
- 4 保険の契約期間が終了すること
- 5 一度火を止めて、コレでゆっくり火を通します
- 6 日本国憲法公布を記念してできた祝日、○○
- 7 ○の日
- 8 塗りつける、塗りつぶす
- 9 ○○月、○○寄り、○
- 10 ○超しそば

〈応募要項〉

あて先は、〒456-0006 名古屋市中熱田区沢下町9-3 愛知民医連宛



https://goo.gl/k5hZMy

QRコードをスマホなどで読むと応募フォームから投稿できます。

理事会報告

☆9月19日、国民の戦争法反対の声を押し切り強行された日から10年が経ちました。国会を埋め尽くした国民の姿が今も目に焼き付いています。この10年を見ると集団的自衛権行使容認に始まり戦艦の爆買い、西南諸島の軍事施設強化と戦争できる準備が着々と進められています。一方で、国民を分断して社会保障費削減が叫ばれ、病床11万床削減が狙われようとしています。一人一人が憲法を学び政府の誤った方向を止める必要があります。

☆全日本民医連「地域崩壊をくい止めるための緊急行動提起」がされ、100万署名に取り組んでいます。理事会では全日本民医連事務次長の牧内智則氏より学習講演をしていただきました。全国の医療機関の7割弱が赤字経営となり、自力では回復できない状況です。各事業所での学習と署名をすすみましょう。

☆秋の社会保険をよくなるように。愛知県との懇談は11月13日、名古屋市の懇談は11月6日です。「介護・認知症なんでも電話相談」(11月10日)と続きます。私たちの医療や介護への思い、現場の声、要望を自治体へ伝えましょう。

【9月26日第3回理事会】
県連事務局長 武田 修三

